

平成 **26** 年度

事業者番号 **0469**

事業所番号 **013002**

事業所の地球温暖化対策計画・実施状況報告

1 事業所の概要

(1) 事業所種別

事業所種別	C 平成20年度以降の3か年度(年度の途中から当該事業所の使用が開始された場合にあっては、当該年度を除く3か年度)連続して、年間原油換算エネルギー使用量が1,500kL以上の事業所(他の事業所の一部(区分所有部分、テナント部分等)である事業所は除く)
C	

(2) 事業所及び事業内容

事業所名	トーヨーケム株式会社 川越製造所					
事業所所在地	市区町村	川越市				
	字・地番	大字中福286番地				
原油換算エネルギー使用量 (kL)	21年度(2009)	22年度(2010)	23年度(2011)	24年度(2012)	25年度(2013)	26年度(2014)
	7,708	7,637	7,424	7,398	7,242	
産業分類名(中分類)	化学工業					
分類番号(中分類)	16					
事業活動の概要	事業内容 従業員数等	事業内容 : 塗料、粘接着剤、合成樹脂、塗工材料及び着色剤に関わる製品の製造				
	延床面積	61,923				m ²

2 事業所の温室効果ガス排出量の削減目標

削減計画期間		23 年度	~	26 年度
削減目標	エネルギー起源CO ₂ (必須)	<ul style="list-style-type: none"> 基準排出量に対して、第1期削減期間の4年平均で、約25%以上を削減する。 第2期削減期間の目標達成に向け、計画を策定する。 		
	その他ガス	平均14年度から16年度の平均排出量に対して削減期間の4年平均で約61%を削減する		
エネルギー起源CO ₂ の削減目標の概要	排出可能上限量 (計画期間合計)	80,960	t-CO ₂	事業所区分 第2区分
	削減目標量 (計画期間合計)	5,168	t-CO ₂	

3 事業所の温室効果ガス排出量

(1) 計画期間の温室効果ガス排出量の推移

CO₂換算(t-CO₂)

			削減計画期間前		削減計画期間				
			21年度 (2009)	22年度 (2010)	23年度 (2011)	24年度 (2012)	25年度 (2013)	26年度 (2014)	
エネルギー起源CO ₂		見込		16,200	15,900	15,000	13,000	13,900	
		実績	13,862	13,747	13,412	13,301	13,027		
その他ガス	非エネルギー起源CO ₂	見込		4,900	4,600	4,400	4,900	4,600	
		実績	2,067	2,025	2,033	1,970	1,915		
	メタン	見込							
		実績	0	0	0	0	0		
	一酸化二窒素	見込							
		実績	0	0	0	0	0		
	ハイドロフルオロカーボン	見込							
		実績	0	0	0	0	0		
	パーフルオロカーボン	見込							
		実績	0	0	0	0	0		
	六ふっ化いおう	見込							
		実績	0	0	0	0	0		
	温室効果ガスの合計		見込		21,100	20,500	19,400	17,900	18,500
			実績	15,929	15,772	15,445	15,271	14,942	

(2) 計画期間の温室効果ガス排出量原単位の状況(エネルギー起源CO₂)

CO₂換算(t-CO₂/指標)

			削減計画期間前		削減計画期間				
			21年度 (2009)	22年度 (2010)	23年度 (2011)	24年度 (2012)	25年度 (2013)	26年度 (2014)	
エネルギー起源CO ₂ 排出量原単位			見込	0.2300	0.2208	0.2055	0.2100	0.2080	
			実績	0.1987	0.1952	0.1996	0.2120	0.2035	
活動規模の指標	●	生産量 (単位)	t/年	69754	70434	67187	62736	64023	66805
	○	出荷額 (単位)	百万円/年						
	○	従業員数 (単位)	人						
	○	床面積 (単位)	m ²						
	○	()							

4 温室効果ガス削減目標に係る状況

(1) 基準排出量の算定方法

過去の実績排出量の平均値	基準年度	平成14～16年度	標準的ではない年度	なし
排出標準原単位を用いる方法	延床面積		m ²	
基準排出量 (上記の方法で算定したもの)	21,532	t-CO ₂ /年		

基準排出量検証	基準年度検証実施済
---------	-----------

(2) 基準排出量の変更

変更年度		変更理由		変更量	
変更年度		変更理由		変更量	
変更年度		変更理由		変更量	

(3) 目標削減率

目標削減率の区分	第2区分
目標削減率	6%

(4) 削減計画期間

23年度から	26年度まで
--------	--------

(5) 年度ごとの状況

		23年度	24年度	25年度	26年度	削減計画 期間合計
基準 排出 量 等	基準排出量(A)	21,532	21,532	21,532	21,532	86,128
	トップレベル認定					
	目標削減率(B)	6.0%	6.0%	6.0%	6.0%	
	排出上限量 (C = ΣA-D)					80,960
	排出削減目標量 (D = Σ(A×B))					5,168
実績	エネルギー起源CO ₂ 排出量(E)	13,412	13,301	13,027		39,740
	排出削減量 (F = A - E)	8,120	8,231	8,505		24,856

5 燃料等使用量及び温室効果ガス排出量

別紙1-1、1-2号

6 温室効果ガス排出の抑制等に関する措置の計画及び実施状況

別紙2号

7 過年度における温室効果ガスの推移

別紙3号

8 事業者として実施した対策の内容及び対策実施状況に関する自己評価

別紙4号

9 目標達成に係る措置(その他ガス排出量の削減及び排出量取引を含む。)の計画及び実施状況

別紙5号

別紙2号 温室効果ガスの排出の抑制等に関する措置の計画及び実施状況

C事業所

トーヨーケム株式会社 川越製造所

No	対策の区分			対策名称	実施時期	備考
	区分番号	区分名称				
		大区分	中区分			
1	490200	その他	49_その他の削減対策	廃溶剤を蒸留精製し、副生液を製造。 蒸気ボイラー燃料として併用し、重油削減	平成17年度～	
2	340500	発電専用設備、コージェネレーション設備	34_熱の動力等への変換の合理化に関する措置	コージェネレーションシステムの排熱利用 (蒸気、温水、冷水発生)による重油削減	平成19年度～	A重油から都市ガスへの燃料転換
3	320300	ボイラー、工業炉、蒸気系統、	32_放射・伝熱等による熱の損失の防止に関する措置	蒸気配管・バルブ類の保温材補修 ドラム加温槽からの蒸発防止策実施	平成21年度～	
4	329900	ボイラー、工業炉、蒸気系統、	32_ボイラー・工業炉・蒸気系統・熱交換器等に係るその他の削減対策	蒸気吸収式冷凍機の温度制御変更による蒸気と電力使用量削減	平成21年度～	夏季のみ蒸気吸収式冷凍機を運転
5	310400	一般管理事項	31_エネルギー使用量の管理	蒸気流量計の設置による蒸気使用量管理 蒸気元バルブ閉管理による無駄の削減	平成22年度～	
6	360700	ポンプ、ファン、ブロー、コンプレッサー等	36_電気の動力・熱等への変換の合理化に関する措置	エアリーク対策とコンプレッサーの効率的稼働	平成22年度～	
7	380700	照明設備	38_電気の動力・熱等への変換の合理化に関する措置	水銀灯・蛍光灯からLED照明への変更	平成23年度～	
8	329900	ボイラー、工業炉、蒸気系統、	32_ボイラー・工業炉・蒸気系統・熱交換器等に係るその他の削減対策	蒸気吸収式冷凍機から電気式モジュールチラー方式に更新	平成23年度	
9	330200	空調設備・換気設備	33_加熱及び冷却並びに伝熱の合理化に関する措置	クリーンルームの省エネ運転	平成23年度～	
10	360700	ポンプ、ファン、ブロー、コンプレッサー等	36_電気の動力・熱等への変換の合理化に関する措置	冷却水循環系統の変更による送水ポンプの稼働率制御	平成24年度～	
11	350600	受変電設備、配電設備	35_抵抗等による電気の損失の防止に関する措置	特別高圧受電設備 更新による力率改善	平成24年度	
12	329900	ボイラー、工業炉、蒸気系統、	32_ボイラー・工業炉・蒸気系統・熱交換器等に係るその他の削減対策	熱媒ボイラー A重油から都市ガスへの燃料転換	平成25年度	
13	330200	空調設備・換気設備	33_加熱及び冷却並びに伝熱の合理化に関する措置	恒温恒湿室の省エネ運転	平成25年度～	
14	320100	ボイラー、工業炉、蒸気系統、	32_燃料の燃焼の合理化に関する措置	蒸気吸収式冷凍機から電気式モジュールチラー方式に更新	平成26年度	
15						

別紙3号 温室効果ガスの過年度における推移

(1) 温室効果ガス排出量の推移

事業所番号 013002

C事業所

トーヨーケム株式会社 川越製造所

CO₂換算 (t-CO₂)

		14年度 (2002)	15年度 (2003)	16年度 (2004)	17年度 (2005)	18年度 (2006)	19年度 (2007)	20年度 (2008)	21年度 (2009)	22年度 (2010)	23年度 (2011)	24年度 (2012)	25年度 (2013)	26年度 (2014)
基準年度		○	○	○										
燃料等使用量の原油換算量 (kL)		10,883	11,227	10,909	10,753	10,293	8,878	7,957	7,708	7,637	7,424	7,398	7,242	
エネルギー起源 CO ₂		21,241	21,980	21,373	21,509	20,396	16,524	14,500	13,862	13,747	13,412	13,301	13,027	
その他ガス	非エネルギー起源 CO ₂	11,072	10,473	14,064	7,912	3,664	5,586	5,618	2,067	2,025	2,033	1,970	1,915	
	メタン	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	一酸化二窒素	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	ハイドロフルオロカーボン	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	パーフルオロカーボン	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	六ふっ化いおう	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
合計		32,313	32,453	35,437	29,421	24,060	22,110	20,118	15,929	15,772	15,445	15,271	14,942	

(2) 温室効果ガス排出量原単位 (エネルギー起源CO₂)

CO₂換算 (t-CO₂/指標)

			14年度 (2002)	15年度 (2003)	16年度 (2004)	17年度 (2005)	18年度 (2006)	19年度 (2007)	20年度 (2008)	21年度 (2009)	22年度 (2010)	23年度 (2011)	24年度 (2012)	25年度 (2013)	26年度 (2014)
エネルギー起源 CO ₂ 排出量原単位			0.2991	0.3010	0.2738	0.2808	0.2734	0.2133	0.2124	0.1987	0.1952	0.1996	0.2120	0.2035	
活動規模の指標	生産量 (単位)	t/年	71011	73028	78063	76599	74610	77468	68268	69754	70434	67187	62736	64023	66805
	出荷額 (単位)	百万円/年								0	0	0	0	0	0
	従業員数 (単位)	人								0	0	0	0	0	0
	床面積 (単位)	m ²								0	0	0	0	0	0
	()									0	0	0	0	0	0

(※希望者のみ記載)

トヨーケム株式会社 川越製造所

自由記述欄

1. ISO14001の取得

当工場では、1997年2月にISO14001を認証取得し、エネルギー使用量の削減、地球温暖化対策や廃棄物の削減などに取り組んでいます。

また、製品面でも水性化、脱VOC、脱塩化ビニル、リサイクル性を考慮した環境調和型製品の開発を行っております。

2. 社会・環境活動報告書

1999年より、社会・環境活動報告書を作成し、事業活動を開示しております。

<http://schd.toyoinkgroup.com/ja/csr/reports/backnumber.html>

3. 環境活動報告書

・特定化学物質の環境への排出量の把握等及び管理の改善の促進に関する法律 (PRTR法) に基づき、行政に報告した内容を開示しております。

・埼玉県地球温暖化対策推進条例に基づき、東洋インキグループは特定事業者として地球温暖化対策計画を埼玉県に提出し、GHG検証(基準年と削減実施2ヶ年度分)の取得おこないました。同条例第15条の定めにより、報告書の公開部分をPDFで開示しております。

<http://schd.toyoinkgroup.com/ja/csr/reports/performance.html>

4. 環境コミュニケーション

当製造所では、地域住民・企業・行政(埼玉県、川越市)など、さまざまな関係者(ステークホルダー)との間で、環境保全(化学物質、排出ガス、排水処理、省エネ対策、土壌改良、安全、防災管理体制等)への取り組みや環境負荷に関する情報などについて、受発信や対話を行い不安を解消する様、埼玉県では先駆けて2002年度より毎年実施し意見交換をおこなっております。埼玉県のHPでも紹介されております。

<http://www.pref.saitama.lg.jp/site/kankyou-communication/kc-jirei.html>